

2022年8月9日

各 位

会 社 名 株式会社A D E K A
代表者名 代表取締役社長 城詰 秀尊
(コード：4401、東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 法務・広報部長 小八重 文武
(TEL. 03-4455-2803)

当社連結子会社における「業績予想の修正」に関するお知らせ

本日、当社の連結子会社である日本農薬株式会社が添付資料のとおり発表しましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当社の連結業績への影響につきましては、他の要因を含めて現在精査中であり、修正が必要となる場合は2022年8月10日に公表予定の2023年3月期第1四半期決算短信発表時に開示いたします。

<添付資料>

「業績予想の修正に関するお知らせ」

(2022年8月9日付の日本農薬株式会社公表資料)

以 上



2022年8月9日

各 位

会社名 日本農薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岩田 浩幸
 (コード: 4997、東証プライム)
 問合せ先 管理本部総務・法務部長 吉岡 正樹
 (TEL. 03-6361-1400)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月12日に公表した2023年3月期第2四半期(累計)および通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	39,300	2,000	1,800	1,400	17円82銭
今回発表予想(B)	46,400	4,300	4,200	3,100	39円53銭
増減額(B-A)	7,100	2,300	2,400	1,700	
増減率(%)	18.1	115.0	133.3	121.4	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第 2四半期)	31,480	1,444	1,568	1,548	19円69銭

会計方針の変更に伴い遡及適用を行ったため、(ご参考)前期第2四半期実績(2022年3月期第2四半期)は、遡及適用後の数値を記載しています。

2. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	91,300	6,900	6,200	4,500	57円29銭
今回発表予想(B)	98,000	8,800	7,800	5,400	68円86銭
増減額(B-A)	6,700	1,900	1,600	900	
増減率(%)	7.3	27.5	25.8	20.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	80,111	5,762	5,665	4,405	56円08銭

会計方針の変更に伴い遡及適用を行ったため、(ご参考)前期実績(2022年3月期)は、遡及適用後の数値を記載しています。

3. 修正の理由

(1) 2023年3月期第2四半期(累計)

国内農薬販売においては、流通在庫の影響により販売額が期初の予定を下回る見通しであるものの、海外農

薬販売において、物流のひっ迫や今後の価格上昇懸念などから荷動きが早まっているほか、農薬需要が拡大傾向にあるブラジルを中心に販売が伸長する見通しです。加えて、為替が期初の想定より円安に推移していることなどから、売上高は当初の予想を上回る見込みであります。

利益面においても、上記売上高の増加により、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益が当初の予想を上回る見込みであります。

(2) 2023年3月期通期

通期見通しにつきましては、海外農薬販売において、第3四半期以降もブラジルでの販売が伸長する見通しであるほか、直近の為替相場の動向による影響等を考慮した結果、売上高は当初の予想を上回る見込みであります。

利益面においても、上記売上高の増加により、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が当初の予想を上回る見込みであります。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上